

「農の学校」収穫祭 育てた農産物調理

日本農業新聞掲載日：令和7年12月5日（金）

日野市援農市民養成講座「農の学校」は11月中旬、同市で収穫祭を開いた。今年1月から実習や座学で講義を受けてきた21期生15人が参加した。校長を務める古賀壮志市長や、市農業委員会の岩沢宏会長、修了生でつくるNPO法人「日野人・援農の会」のメンバーらも参加した。

午前中はハクサイやダイコン、ニンジンなどを収穫した。午後は市立七ツ塚ファーマーズセンターで行い、JA東京みなみの奥住喜樹副組合長も参加した。

午前中に収穫した野菜を使った豚汁や、実習農場で育てた陸稻で作った炊き込みご飯、生徒が持ち寄った料理などを振る舞い、和やかな会となった。

参加者は「1年間の活動で得た知識を活かし、日野の農業を支えたい」と話した。



実習農場にて（東京都日野市で）